南九州酒販株式会社

仏と九州焼酎つなぐ

九州経済産業局ほか オンラインで蔵見学や商談会

緊急企画「九州×フランス『本格焼酎』国際展開チャレンジ2020」を6月1日、九州経済産業局（福岡市）が発表した。コロナ禍にあっても、九州の焼酎蔵元とフランスのソムリエやインポーター、飲食店等バイヤーとの交流継続を図ろうとするもの。両者をオンラインでつなぎ、7月20日から「蔵元見学・試飲会」、同月27日から「商談会」を実施。九州管内7県＝福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島＝の本格焼酎蔵元を対象に公募している。締切6月12日正午。

「九州の出荷量が全国の9割以上を占める本格焼酎業界は、新型コロナウィルスの影響による飲食店向けの出荷減等厳しい経営環境に直面している」として打ち出した。九州経済産業局、九州経済国際化推進機構およびジェトロ在九州事務所などが、日EU経済連携協定（EPA）を契機とし、九州産酒類の欧州等海外への販路拡大を支援するために行っているインフルエンサー招へい、令和2年度「Kura Master」交流事業の一環。

九州経済国際化推進機構は、九州における国際経済交流の一元的組織として、域内の地方公共団体・経済団体・民間企業等が一体となり2001年7月設立された。現36機関。

Kura Masterと連携

参加公募、締め12日

Kura Masterは2017年からフランスで始まった、フランス人ソムリエらが審査する日本酒コンクール。実施組織関係者はフランス及び欧州市場での日本酒普及を目指してきたが、その関心と活動のフィールドを双璧の國酒「本格焼酎」へ広げようとしている。今年2月には審査員（グザビエ・チュイザ審査委員長、宮川圭一郎運営委員長）一行が鹿児島県を訪れ、県内焼酎蔵を視察したほか、九州7県50銘柄の本格焼酎をテイスティングし各県酒造組合代表や蔵元と意見交換を行った。

今回企画もKura Masterと連携し行う。

▽「オンライン蔵元見学・試飲会」令和2年7月20・22・24日、主催者選定3蔵元程度で実施予定（令和3年1～3月・第2弾実施に向け秋頃、2度目の公募予定）＝九州経済産業局・九州経済国際化推進機構・Kura Masterの主催。福岡国税局・熊本国税局・ジェトロ福岡が共催、九州本格焼酎協議会が後援する。オンライン会議方式でフランスのソムリエ等インフルエンサーやバイヤーと九州の本格焼酎蔵元を結び、蔵元による商品説明会を行う。通訳込みで1回1・5時間程度。

▽「オンライン商談会」令和2年7月27～31日、15蔵元程度で実施予定＝産業局・機構・在九州ジェトロの主催。両局と協議会が後援する。オンライン会議方式でフランスのインポーターや飲食店等バイヤーと九州の本格焼酎蔵元を結び商談機会を提供する。

ともに、焼酎輸出専門商社「南山物産㈱」（中山大希社長、本社・東京都杉並区）が協力する。

◇　◇　◇

蔵元見学・試飲会と商談会は重複応募、可。「九州×フランス本格焼酎国際展開チャレンジ」エントリーシートをダウンロードし、必要事項入力の上、以下へメール送信。kyukokusai@meti.go.jp また6月16日までにサンプル焼酎（720㎖または900㎖×3本）の輸送、要〈送付先はエントリーシート受付後にお知らせ〉。

応募多数の場合は、提出の企業情報・商品情報シート・サンプルをもとに主催者で審査を行う。両事業とも参加出来ない場合は、現地ソムリエ等からのフランスでの取扱可能性等についてのコメントを送る。

問合せ「九州経済産業局・国際部国際課」092―482―5423〈担当者がテレワークの可能性あり、前記メールアドレスまで〉

はしり書き

◇首都圏の緊急事態宣言が解除されても街の飲食店は閑散としている。22時まで営業可能も「守るつもりはなかった」が、客がいない」と9時過ぎには閉店する店も多い。「4月は需要が蒸発した」。某ビールメーカーの担当者はそう表現した。別の飲料メーカーの営業責任者は、「4月は25%減。来年私はいないだろうね」と定年間近で嘆いていた。（拓）

コロナ
オゾン水
シンワ
愛知県のエース産業㈱（トヨタ車体㈱の子会社）はオゾンエアーやオゾン水製造装置を長年製造しており、この報告のあと
車体が開発した新技術を事業化している会社で、トヨタ車体の保冷車のオゾン脱臭装置のノウハウを活かし、オゾン装置の
匂いを軽減できた」「側溝のヌメリが無くなった」などの声が集まっている。
シンワフーズケミカル
700社を超
SF
山中技研
フリーダイヤル
問い合わせは、シンワフーズケミカル大阪営業所（06―6868―9200）まで。